

令和3年12月3日  
北海道電力株式会社

## 泊発電所3号機における傷病者発生について

泊発電所3号機（加圧水型軽水炉、定格電気出力91万2千kW）は、定期検査中のところ、本日、14時36分、タービン建屋1階（非管理区域）で、弁の分解点検作業中にグレーチング※を取り外す際、協力会社作業員1名が転倒し負傷しました。

その後、体調不良を訴えたことから、14時54分、救急車を要請し倶知安厚生病院へ搬送されました。

病院における診察の結果、左肘の裂傷、腰部及び左膝の打撲と診断されました。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はありません。

本件については、「泊発電所に関する通報連絡及び公表基準」に基づき、北海道及び岩宇4カ町村（泊村、共和町、岩内町、神恵内村）に連絡済です。

### ※ グレーチング

発電所の歩行通路の床面などに使用されている格子状の金属部材

### <添付資料>

- ・泊発電所3号機 建屋配置図

以上

<添付>

泊発電所3号機 建屋配置図

